

エリスマン邸について

エリスマン邸は大正 15（1926）年、スイス人の生糸貿易商フリッツ・エリスマン氏の邸宅として建てられました。

木造建築の白く美しい洋館は近代建築の父、アントニン・レーモンドの設計。1 階応接室、ダイニング、サンルームには彼の設計した家具が復元展示され、2 階は横浜山手地区の資料館となっております。

建築当時は和館付（エリスマン氏の奥様は日本人です）で 81 坪の建物でしたが昭和 57（1982）年、マンション建築のため解体。平成 2（1990）年、元町公園内の現在地に再現されました。

煙突、ベランダ、屋根窓、上げ下げ窓、錠戸といった異人館的要素をもちながら、軒の水平線の強調など、設計者レーモンドの師匠である世界的建築家 F.L.ライトの影響も見られます。



【アクセス】

横浜市中区元町 1-77

みなとみらい線「元町中華街駅」元町出口 6

アメリカ山公園経由 徒歩 6 分

去年の KICA フェスティバル風景

「エリスマン邸のおもてなし」



サンルーム



ダイニング



リビング

インテリアコーディネーターの空間演出を今年もぜひお楽しみください。

主催：公益社団法人インテリア産業協会 関東甲信越支部
共催：神奈川インテリアコーディネーター協会